（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	鶴岡市立あおば学園

公表日　令和　7年　2月　28日

利用児童数　23家庭　　回収数 1回目）19　2回目）22

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1）19				・保育士の目が届く適度な範囲だと思う。 ・上に登る所もあり工夫されている。 ・居心地のよい広さである。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1）17	1）1		1）1	・知識や経験が豊富で安心している。 ・本人のペース、特性に合わせた活動の誘い方をしてくれていつもありがたいです。 ・人数が多く助かる。 ・手厚い対応をしていただいている。 ・少しの変化にも気づいてもらえてとても助かっている。 ・早朝登園した際に、荷物整理が終わっても先生が来てくれない時が1.2度あった。	・受け入れについてご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。保護者の方が安心してお子さんを預けられるよう、またお子さんも気持ちよく一日のスタートができるよう今後も配慮してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1）18			1）1	・活動の内容や自分で身支度ができるように示す為のものとして写真をたくさん使用していただいている。 ・トイレも使いやすい。 ・クールダウンもできてよい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1）19				・整理整頓されている。 ・いつもきれいにしている。 ・活動に応じて部屋移動があり、わかりやすい。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2）21	2）1			・自分のこどもについて以外でも、親子教室などに参加すると、一人ひとりの特性に応じた支援をしてくれているとよくわかる。 ・特性に応じて部屋も活動も違うので良い。 ・いつでもこどもの立場に立ち、適切な支援をしてもらえている。 ・こどもの状況をよく見て、気持ちや考えに寄り添っていただいています。 ・療育センターに同行してもらい訓練の内容を共有してくれている。 ・できないことが多かったので、できそうなこと、できることを提案してくれた。 ・体幹をつける為に、トランポリン等を取り入れてもらった。 ・こどもの得意・不得意をきちんと把握して対応していただいている。 ・十分に理解してもらっていると感じます。専門性があるかどうかはわからない。	・職員の質の向上に資する取り組みとして、施設内外で様々な研修をしております。一人ひとり違う特性等に応じる為、今後も保護者はじめ、主治医やこども医療療育センター等と連携し、知識や技術を学びを深めていきたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	2）21			2）1	・公表されているもの以上に提供されて良い。 ・活動を通して、親子でほっとできる場所を提供していただいていた。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1）19				・面談でお話したことが反映されている支援計画になっている。 ・保護者の面談を通じて作成していただけた。 ・保護者の意見も取り入れつつ、こどもに合った計画を立ててもらっている。 ・年に何度も作成してありがたいです。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2）14	2）1		2）4	・毎回丁寧に個人面談をしていただき、安心して通わせてもらっている。（２名） ・発達の進み具合に合わせた適切な内容。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1）19				・要望、意見を汲んでいただいている。 ・遊びながら楽しく行われていて良い。 ・楽しく活動できた。 ・いろんな角度から支援がある。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1）18	1）1			・その日の中でも何種類かの活動が準備されている印象。（３名） ・連絡帳にて、毎日異なった活動をしているのがよく伝わってくる。 ・成長に合わせて工夫されている。 ・いろいろな遊びを考えてくださり、いつも楽しそう。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1）16			1）2	・保育園と併設されている為、渡り廊下で行き来しているようだ。 ・併設園との交流が良い機会となっている。 ・年長になってから特に併設園の子どもたちとかかわってきたと思う。 ・普段幼稚園で刺激を受けている。 ・月1回利用なのでわからない。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2）22				・先生から面談を通し丁寧な説明がありました。（4名）	

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2）22				・こどもをよく見て計画していただき、面談にて計画書を示しながら説明していただきました。とてもわかりやすい。（5名） ・最初の方で説明があった。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1）14 2）21	1）2		1）2	・お迎え時や親子教室の際、情報共有できている。 ・基本的に母親が保護者会に参加する機会が多いが、パパファーストの日や祖父母参観日など機会は与えられていると思う。 ・にこふるで行われた臨床心理士のお話を聞ける機会にお声がけいただき参加することができた。 ・為になる情報に何度も参加できてありがたい。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1）17	1）1			・朝送り届ける際も、短時間だがコミュニケーションが取れて良い。 ・送迎時や連絡帳、親子教室等で細かに情報をいただいている。（4名） ・何気ない会話ができている。 ・月１回なので、日頃からというのは少し難しい。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1）18				・お迎え時や親子教室の際、情報共有できている。 ・面談や活動時に先生方と話している。 ・助言のおかげでスムーズに進めています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2）21				・保護者の思いや困り事など、保護者の立場、こどもの立場で支援してもらえている。 ・保護者の考えや気持ちを理解しようとしてもらえている。 ・職員のみなさんから、こちらの気持ちに寄り添ってもらえてると感じています。 ・親の考えや接し方など否定せず、見守ってもらっています。 ・親のミスも温かく共感していただき、助けられています。 ・先生とじっくり話すことができ安心した。 ・ほっとクラブで先生とお話しする時間が好きでした。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1）18 2）17	2）3		1）1 2）2	・交流の場があることで一人ひとりの保護者の方とかかわっていけるのでありがたい。 ・保護者同士の交流があって良い。 ・予定が合わず１回のみの参加だったが心が軽くなった。 ・保護者もきょうだいも行事に参加するのを楽しみにしている。 ・コロナ禍以後、運動会や遠足など親以外の参加も可能になり、きょうだい同士の交流の機会が設けられたと思う。 ・きょうだいも一緒に活動に参加できてありがたい。 ・ほっとクラブはきょうだいだけでなく両親で参加できるので、支援内容もみんなで一目見て学べるのでステキな交流の時間となっています。 ・様々なイベントにおいてきょうだい参加可となっており、実際に参加している。 ・きょうだい同士はわからないが、きょうだいが参加したときに、おやつや工作など準備してあった。 ・年齢もそれぞれ異なるため、きょうだい同士の交流は少し難しいかなと思う。 ・きょうだい向けイベントはあまりないと感じる。	・運動会や遠足、クリスマス会等できょうだいを含めたご家族に参加のお声がけをしています。その中で、小集団保育を利用の方から、人数が多くなり狭かった、身動きできなかったというご意見をいただいたことや、こども達も苦しく大変な思いをした経緯もあり、人数制限ある行事も設定しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1）17	1）1			・一日の様子をお迎え時や連絡帳で教えていただけて助かる。 ・新たな困り事ができた時、相談すると親身に聞いていただいている。 ・こちらの申し入れに対して、対応が早く助かっている。 ・メールでのやりとりもできてすぐに対応いただいています。 ・放課後等デイサービスについて、もう少し相談できれば良かった。	・送迎時や親子教室等でいつでも相談できるようにしております。放課後等デイサービスについては、お子さんの利用相談支援事業所と連携を図り対応してまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1）19				・一日の様子をお迎え時や連絡帳で教えていただけて助かる。 ・新たな困り事ができた時、相談すると親身に聞いていただいている。 ・日々の連絡帳等で情報共有していただき助かっている。 ・メール配信が便利だった。 ・こどもはもちろんですが、親にまで配慮いただき恐縮です。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1）18			1）1	・毎月のおたよりで園の様子を写真で知れるのは嬉しい。 ・写真も多くて見ていて楽しい。 ・メール配信が便利だった。 ・アンケート結果がHPで公表された際は、改めて周知していただけると助かる。	・２月のお便りでHPに掲載することをお伝えし、２月の保護者会ではお答えいただいたことへの感謝と掲載したことの報告を口頭でお知らせしております。皆様に周知できていなかったことをお詫びいたします。今後は公表をした際に紙面でもお伝えしてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1）19				・こちらが思っている以上に大切に取り扱っていただいている。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1）15 2）13	1）1		1）2 2）6	・安心して通園できている。 ・毎月避難訓練されていて安心できる。（2名） ・面談時に説明していただいた。 ・訓練は、月１回のほっとクラブ時は行っていなかった。（２名） ・どのような事故防止マニュアルか説明されていたか思い浮かばなかった。ケガ以外の時はどのような対応かわからない。	・これまでほっとクラブでは訓練を行っておりませんでしたが、日程や内容を考え、訓練を検討してまいります。 ・各種マニュアルを作成していますので今後も周知してまいります。また、救急要請が必要になり得るお子さんに対し、フローチャートを作成し保護者の方の同意を得ております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1）15	1）1		1）2	・毎月避難訓練されていて安心できる。 ・子どもたち毎月避難訓練をしているようで、様子はお便りにも載っている。保護者を巻き込んでの訓練もあった。 ・月1回利用なのでわかりません。 ・お便りなどで訓練の写真を見たことはあるが、動画で見てみたい気持ちもある。	・毎月お子さん一人ひとりの姿を見通した避難訓練を行っております。訓練では一人ひとりができるだけ安心して過ごせるような対応や、職員が本番を想定した通報訓練や連絡調整の確認など連携して対応しております。連絡ノートや口頭でお子さんの姿をお伝えしきれないところもあると思いますので、動画を撮影する人的な体制を確保した上で撮影し希望があった際にはお見せしていけるように努めてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	2）16	2）1		2）2	・先生も多くいるので、安全の確保が十分に行われていたと感じる。 ・月1回利用なのでわかりません。 ・どのような計画かわからなかった。	・安全計画を策定しております。今後も概要についてお伝えしてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2）15			2）5	・ぶつけたりすりむいたりしたなど、いつも速やかに連絡いただいています。 ・どんなに軽い程度でも痛めたりした際は丁寧に詳しく説明して報告してもらっている。 ・ちょっとした接触や転倒などもせつめいされている。 ・こどもが他の子に叩かれたことがあった時に報告がありました。 ・何か起きた際には、すぐに連絡があるため安心できる。 ・月1回利用なのでわかりません。 ・実際に事故が発生していないのでわからない。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	1）17	1）1		1）1	・連休明けでも行き渋り全くしないほど楽しみにしている。送迎車が来るとにこにこで出発していく。 ・特に先生のことが対好きな様子。 ・園に着くと先生に挨拶する姿も見られるので、楽しく通えていると思う。 ・楽しんでいます！ ・毎月いつも楽しみにしている。（２名）	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1）17	1）1		1）1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	1）19				・常に満足している。まだ通い始めて一年未満だが、どんどんできる事が増え続けていて適切な支援を受けられる場所につながって良かったと日々思っている。 ・丁寧に優しく対応していただいている。 ・子どもへの個別支援、親への声かけをしていただきありがたい。 ・月１回だったが、季節に合わせた内容で子どもと一緒に楽しめた。 ・大満足です。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	鶴岡市立あおば学園

公表日　令和7年　2月　28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個室３つとフリースペース、多目的ホールがあり、児童の活動に合わせて使用したり、お子さんに合わせて個室内を間仕切りするなどの工夫をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用定員１０名に対し、8名以上の児童指導員の他、作業療法士、看護師を配置し支援を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		施設内はバリアフリー設計となっていますが、テラスへの出入りや園庭から内川沿いへの避難経路など段差が数か所あります。段差解消のため、携帯用スロープを必要に応じて使用しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		感染症対策として、玄関や各フロアにアルコールスプレーを常置し、適宜換気を行っています。毎日の定期的な清掃、消毒を行い、気温や湿度にも気を配っています。また、業者委託による空調点検やワックスがけも定期的に行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	○		お子さんの様子や周囲の状況に応じ、カームダウンスペースを使用したりパーテーションなどで個別空間を作り、お子さんが生活しやすい環境を工夫しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎年、業務内容や改善の是非に関するアンケートを全職員に対して行い、業務改善に対して意見を徴収し改善に繋げています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		行事や支援内容に対して、毎年保護者アンケートを行い、事業運営に活かしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所における自己評価での振り返りや毎月の職員会議時に忌憚なく意見を募り議論し、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、利用者と事業所内のみの評価となっております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修の伝達や虐待・権利擁護研修、感染症予防等の事業所内研修を定期的に行っています。外部研修（対面・リモート）に積極的に参加し、職員の資質向上に取り組み、研修報告を内部で行い伝達しています。また、法人全体でも初任者研修や合同研修を行っております。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	○		職員の共通理解や事業所が提供する支援の見える化を図るため、支援や取り組み等の実施に関する支援プログラムを作成しホームページ等で公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		入園前のアセスメントやニーズの把握を丁寧に行い、お子さんの現在の育ちに即した計画内容となるよう作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		面談時の内容を元に、日々の支援に直接関わる職員が計画作成に参画しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有し、計画に沿った支援や必要によっては必要に応じ随時計画を見直しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		各種アセスメントツールを利用し、お子さんの特性の把握や支援に活かしています。また、事業所独自のツールを用い、検討や確認をしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		お子さんの発達段階に合わせた丁寧な支援計画と、お子さんとそのご家族を含めた具体的な支援内容を設定するように配慮しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事業所全体や各グループ単位のチームを編成し、月ごと・週ごと・日々の活動プログラムの立案を行っています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員がそれぞれの立場から意見を出し合い、定期的な活動の見直しを行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子さんの興味関心や特性に合わせて、個別活動や集団活動を組み合わせた支援計画を作成し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝同時間帯にリーダーミーティングを行い、その後グループ別に全職員に書面により伝達しています。現場職員が伝達内容を確認するための時間も設けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		毎日同時間帯にグループミーティングとリーダーミーティングを行い、その日の振り返りと反省点の共有を行い、グループ内職員に伝達を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日支援内容の記録を行い、定期的に見直すことで支援の検証改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度のモニタリングの他に、随時面談を行い、必要に応じて計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者、又はお子さんの担当指導員が出席し情報伝達と共有を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域のこども医療療育センターや医療機関との療育連絡会への事例提出、診察同行、リハビリ見学など定期的行っています。また、市町の教育委員会と情報共有し、就学に向けて密に相談・連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		文書による伝達記録配付以外にも、移行先の保育園や学校の見学の受け入れを行ったり、サービス担当者会議に参加したりして情報共有と相互理解に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		個別支援計画や小学校への伝達記録等を用いて情報提供するなどし、相互理解に努めています。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	○		県立こども療育センター庄内支所に毎月数回訓練見学に伺ったり来園していただき、PT,OT,STの先生方より支援方法の指導を仰いでいます。また、市のこども家庭支援部署と連携し支援の充実を図っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		敷地内に併設されている保育所と行き来したり季節行事などを合同で行なったり、共有スペースで自由に遊ぶなど自然に関わり合いながら活動する機会が多くあります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回利用時、連絡ノートを通じてご家族への情報提供（お子さんの様子や発達の状況など）を行い、共通理解に努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		現在行っている支援内容やお子さんへの声掛け、関わり方のポイントなどを親子通園の際にご家族に伝達し共通理解を図っています。また、個別面談の際にお子さんの園生活を動画でお見せし、実際の支援の様子をお伝えするなど、家族支援を行っています。また、市からのご家族向けの情報をお知らせをしています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に運営規程、利用者負担などについてご説明しています。運営規定変更ごとに変更内容を配付し署名捺印をいただいています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		入園前や個別面談時に、お子さんやご家族の意向を確認しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		前期と後期の個別面談時にお子さんのへの支援内容動画をお見せして、支援内容の説明を行い、同意をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族からの申し出やお聞きした相談に対し、連絡ノートでの返答や送迎時に速やかにお応えできるよう努めています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		年８回保護者懇談会兼研修会を開催し、様々な研修会や小グループでの保護者同士の悩み相談会等を企画しています。また、園行事にきょうだいも参加する機会を設けています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付担当者を設け苦情受付体制を整備しています。いただいた苦情を真摯に受け止め、全体に周知し改善点を話し合ってサービスの向上に努めていますが、全ての苦情、要望に対して迅速に対応できるよう更なる対応向上に尽力します。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の園便りや日々の活動、行事のお知らせのほか、必要に応じて配付または掲示して情報発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付のキャビネットに保管しています。　また、ホームページ等の写真画像掲載については毎年ご家族に写真掲載の有無をお聞きし、ご了解いただいたお子さんのみ掲載しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的な配慮を行ったり、表情、仕草等見逃さないようにしながら、意思疎通に努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		行事に祖父母の方やかかわりある施設の方をお招きしています。また、地域のコミュニティセンターのコミセン便りへの卒園式の報告をしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを定期的に見直しています。安全管理委員会を組織し、定期的に会議や研修を行い、内容を職員全体に周知しています。保護者にはマニュアル作成のお知らせをしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、地震・火災時の避難訓練の他に不審者対応訓練など、毎月１回避難訓練を行っています。その他心肺蘇生訓練や下痢嘔吐時対応研修も定期的に行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		入園時に、それぞれのお子さんの主治医の管理のもと服薬されている薬の確認や予防接種の状況、発作の状況や対応方法、喫食経験確認や食物アレルギーの有無等を書面にて確認しています。定期的に確認し最新の状態を職員に周知しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、園内の安全点検やほけんだよりの発行時期、必要な研修や訓練等の計画を組み込み、支援を運用しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		避難訓練について、毎月のおたよりに実施写真を掲載しています。また、保護者への引き渡し訓練を実施しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を活用し、速やかに記入、全職員に伝達しています。ヒヤリハット委員会を組織し、事例の確認やその後の対応について検討し職員に周知しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		市や社会福祉事団主催の虐待防止・権利擁護に関する研修会に参加し、職員会議で伝達を行っています。また、虐待防止委員会を定期的に開催したり、身体拘束適正化指針をもとに実際の支援現場に即した内容で事業所内研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人恵泉会　鶴岡市立あおば学園			
○保護者評価実施期間	１）2024年　12月　27日 ２）2025年　　2月　　10日	～ ～	2025年　1月　17日 2025年　2月　21日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	23家庭	（回答者数）	22家庭
○従業者評価実施期間	１）2025年　1月　9日 ２）2025年　2月　10日	～ ～	１）2025年　1月　17日 ２）2025年　2月　14日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	13名	（回答者数）	13名
○事業者向け自己評価表作成日	１）2025年　1月　28日 ２）2025年　2月　25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・朝から夕方まで一日過ごす生活の場での支援	・一人ひとりの特性に応じて、個別の活動や小人数の活動をしている。毎日同じ時間帯にミーテイングを行い、その日の振り返りと反省を次の支援に活かしている。	・今後も園児の思いをしっかり汲み取りながら、好きなこと得意なことを活かし、苦手なこと不安なことに配慮した支援をしていく。
2	・保護者との情報共有	・送迎時や連絡ノートで園児のその日の様子を伝え、日々保護者の方との情報共有を大切にしている。 ・保護者会では、保護者同士のつながりを持てるようなきっかけの場作りに力を入れている。 ・親子教室では、園児への支援を実際に保護者と一緒に行い、日々どのように過ごしているか伝わる機会にもなっている。	・今後も保護者の方の思いを丁寧にお聞きし、一緒に支援を考えたり保護者同士のつながりの場を大事にした機会を設定していく。
3	・隣接する松原保育園との交流	・共有する園庭では、自然と園児同士が関りを持ち、お互いの存在を意識できるようにしている。 ・毎日の生活の中での行き来や小行事を一緒に楽しむ工夫をしている。	・引き続き、園児同士がふれあったり共有できる環境を大切にするためにも、職員同士の連携を密にしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別にパーテーションで対応する等工夫しているが、園児の状態によってはゆっくりできる部屋が足りず、活動スペースが限られることもある。	・増築や改築については、建ぺい率等により難しい状態。	・パーテーションの工夫や活動の仕方等、できることを一層検討し、園児も保護者も職員も安心して過ごせるようにしていく。